

別紙

平成28年度森林土木研修会開催概要

公共工事の施工技術の習得や入札制度の現状等今日的な課題について理解を深めていただくための研修会等を開催しておりますが、本年は、12月13日（火）に、福島県建設センターにおいて、「管理監督者に対する安全衛生教育」をテーマに、東日本大震災復旧復興工事労災防止福島県支援センター所長の向田恵三氏を講師にお迎えし実施しました。

研修会には17社から23名の方が参加され、熱心に耳を傾けていました。

講義では、「絶対安全はない。従って、毎日、毎週、毎年、安全対策を繰り返すことしか安全が確保されないこと。災害コストと予防コストを比較すると災害コストははるかに高いこと。だから、予防コストは決してケチらないで、悔いが残る安全管理はしないこと。」を強調していた。また、資料あなたを守るポイントを使用し、現場に潜む危険やその危険を回避するための対策について、さらに、PDCAサイクル（P（計画）D（実施）C（点検）A（改善））、リスクアセスメントなどについての話がありました。

なお、講義に使用された資料は次のとおりでした。

- 管理監督者等に対する安全衛生教育テキスト（建設業労働災害防止協会発行）
- 建設現場でできる危険体感教育（(株)労働新聞社発行）
- 震災復旧・復興工事で発生した災害事例集2016（建設業労働災害防止協会発行）
- あなたを守るポイントNO1「バックホウ（ドラグショベル）編」
- あなたを守るポイントNO6「転倒災害防止編」
- あなたを守るポイントNO7「交通災害防止編」（建設業労働災害防止協会発行）

※その他連絡事項

- 今回参加された皆様には修了証が発行されることとなります。
- 当該研修は会場の設定を行うだけで、経費（講師謝礼・会場借り上げ料・テキスト代等）はかかりません。

また、今回の研修の他にも、基礎的な安全衛生教育、専門工事業に求められる安全衛生教育や工事現場で直接行う安全衛生巡回指導も行われていますので、支部単位又は会社などで計画されるのも良いのではないのでしょうか。